

○今月の病害虫発生状況○

- ・ 灰色かび病の発生ほ場率が高くなっています。
- ・ ハダニ類の発生は平年並です。
- ・ アザミウマ類の発生は平年並です。

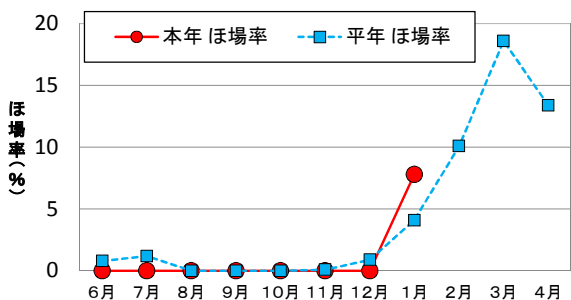


図1 灰色かび病発生ほ場率

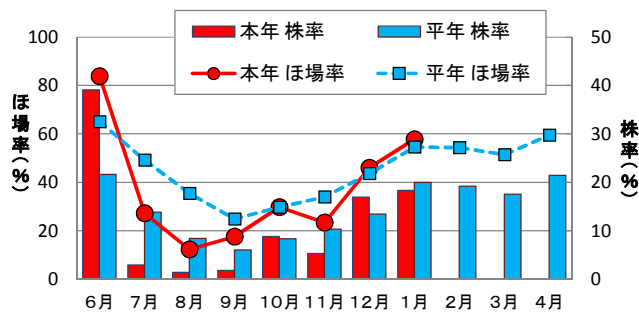


図2 ハダニ類発生ほ場率・株率

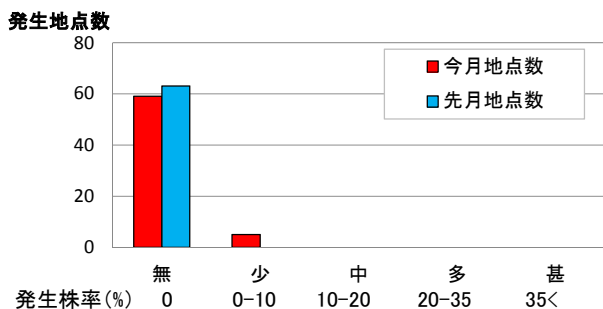


図3 灰色かび病発生程度別の地点数

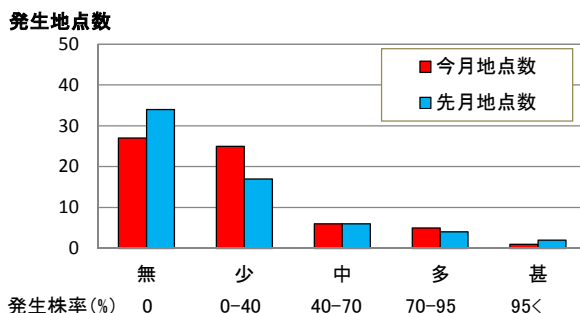


図4 ハダニ類発生程度別の地点数

○今月の技術情報 (技術指導班) ○ (1月)

・ 11月以降、晴天日が多くなり、病害虫の発生は全体的に平年並～やや少ない傾向です。しかし、乾燥状態が続いていることから、引き続き、ハダニ類やアブラムシ類、アザミウマ類の発生に注意が必要です。

・ 2月以降は例年降水量が増加し、ハウス内の湿度が高くなり、病害が発生、拡大しやすい環境となります。下葉の除去等の管理作業、ハウス内の適正な温度管理や換気等により、病害の発生しにくい環境を作るよう努めましょう。

・ 今後1か月間は、1年間で最も気温が低くなる時期です。ハウスの隙間をなくし、保温効果を高めるとともに、授粉用ミツバチの活動も弱くなりやすい時期ですので、活動状況も確認しましょう。

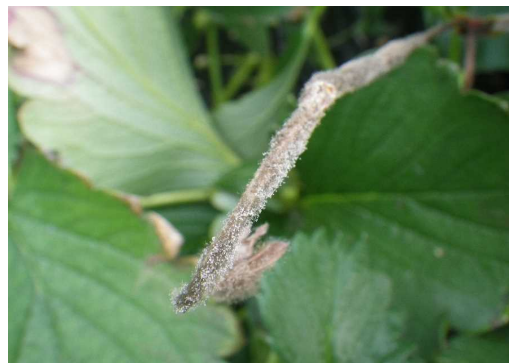


写真1 灰色かび病

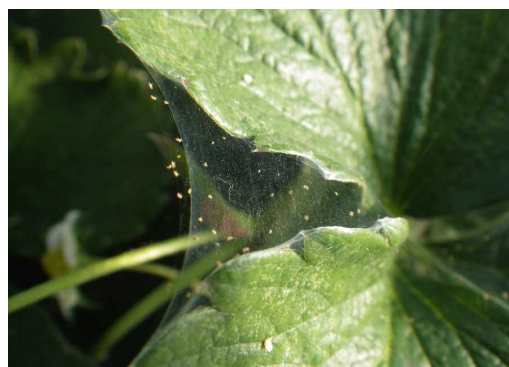


写真2 ナミハダニ